



広島豪雨災害 梅林学区 犠牲者追悼献花会 於：梅林小学校

日時：令和4年（2022年）8月20日（土） 9:00～17:00

主催：梅林学区自主防災会連合会



平成26年（2014年）8月20日発災の広島豪雨災害では77名の方が犠牲となりました。

梅林学区では68名の方が犠牲になりました。

発災8年目を迎え、新型コロナウイルス感染症の蔓延が続く中ではありますが、屋外での開催と防災啓蒙の観点から式典は行わず、「追悼献花会」として開催致しました。

午前8時50分より、自主防災会連合会役員にて黙祷、献花を行い、午前9時よりご遺族を始め、斎藤国土交通大臣、県知事（代理）、松井広島市長、植竹安佐南区長、関係各所、ご友人、ご近所など多くの方々に午後5時まで献花して頂きました。閉会後の撤収作業では梅林学区ソフトボール部にご協力頂きました。

また、開催にあたりましては多くの方々にご協力頂きました。この一年間も自然災害の発生は後を絶たず、多くの犠牲者が出ています。梅林地区でも予想外の災害が起こるかもしれません。皆さま、防災減災に努めて頂きますようお願い致します。

8.20 広島豪雨災害供養祭 八敷第8公園

令和4年8月20日（土）

広島豪雨災害から8年目もコロナ禍の中で迎えました。八敷第8公園では今年は8年前を知らない人にも、また、記憶が薄れつつある人にも防災意識を向上させる目的で、当時の災害写真パネルの展示を行いました。

午後6時から斎藤国土交通大臣や松井市長、植竹区長を迎え、黙とうに始まり、町内会長の挨拶のあと、ツリー型のモニュメントに献灯を行い災害で亡くなられた人々を偲びました。午後8時までに約140名の方が参加されました。



上組町内会「8.20 土砂災害供養祭」 令和4年8月20日(土)

今年はコロナウイルス感染対策のため、規模を縮小し供養祭を行いました。昨年は前日からの大雨の影響で中止になりました。今年も天気が怪しい中、後半には雨が降りましたが、無事最後まで終わらすことができました。

場所は前回と同じ「299溪流堰堤下広場」で行いました。午後4時から祭壇準備、テントの設営をし、紙灯籠200個を並べて「8.20」の文字を浮かび上がらせ、午後6時より犠牲で亡くなられた方々に役員で黙とうを捧げました。その後、齋藤国土交通大臣、松井市長、植竹区長の献花、追悼の言葉を頂戴し、自由参拝の形で進んでいき、暗くなった午後7時過ぎ、二度とこのような災害が起きないように祈念すると同時に5人の犠牲者に対し慰霊の線香花火大会を行いました。



八敷三世代ウォーキング 令和4年10月2日(土)

八敷福祉会の三世代交流会はコロナ禍のため中止になっていましたが、安佐南区地域整備課復興工務係様の御協力により、3年ぶりに実施できました。

10月とは言え28℃超えの炎天下の中、急傾斜の道も有りかなりの運動量でしたが、長束八木線・川の内線、303溪流砂防ダム、防災公園・広島市豪雨災害伝承館などの現場で整備状況の説明を受け、60名の参加者は皆頑張り、最後はモンドラゴンでお好み焼きを頂いて解散しました。

町内の災害復興状況・将来像が理解でき有意義なウォーキングでした。



梅林小学校 食農教育活動

『広島菜名人』の地元農家有志が小学校3年生向けの食農教育として「広島菜漬け」の指導を20年近く続けてきました。農業を通じて試行錯誤を重ねる体験を積むことは、子供たちがこれからの時代を生き抜く力を与えてくれると思います。1ミリにも満たない種が3kg近くの広島菜に成長していき、広島菜漬けとして食する。

ただ、ここ1~2年はコロナの影響か子供たちの心が内向きになり知識を得たいという積極的な質問が減少しています。食農教育は3年生を中心に授業を行いますが、5年生に防災教育を行ったとき、しっかりと3年生の時の広島菜体験(2月の雪の中)を覚えていてくれたことは感激しました。

日本の食料自給率は37%で、種苗や資材等の輸入を考慮すると実質は10%に満たないといえます。広島菜漬けの体験で初めて野菜の種に触れ、土に触れたといった子供たちがずいぶん増えています。体験をきっかけに、農業に興味を持ち自らの人生を切り開く力になってくれればと期待しています。



梅林小学校秋季大運動会 令和4年10月15日(土)



第42回運動会は新型コロナウイルス感染症対策のため、3年続きで生徒を1,3,5年と2,4,6年に分け、前半・後半の二部構成で行われました。

秋晴れのさわやかな天候で運動会には最適な気候の中、「最後まで全力で頑張ろう」のテーマ通り、1年生から6年生の全校生徒が演技や競技をはじめ、全力で頑張り運動会を精一杯楽しんでいました。

来年こそは全校生徒が一堂に会して、生徒たちの全カプレーを、親御さんたちが大声で声援する運動会ができることを願っています。

第55回梅林学区親善グラウンドゴルフ大会 令和4年10月22日(土)

社会福祉協議会主催による第55回梅林学区親善グラウンドゴルフ大会が行われました。良い天気にも恵まれ、15チームの選手が親睦を図り、和気あいあいとグラウンドゴルフを楽しんでいました

今回の成績は次の通りです。

- | | | | |
|-------|----------|----------|--------|
| 団体 優勝 | 上組 B チーム | 2位 | 市土居チーム |
| | 3位 | 上組 A チーム | |
| 個人賞男子 | 1位 酒井 孝 | 2位 | 瀧下 勝之 |
| | 3位 三宅 勝征 | | |
| 個人賞女子 | 1位 木村 幸枝 | 2位 | 藤村 ミヨ子 |
| | 3位 三宅 敏江 | | |



令和4年度の表彰 令和4年12月6日（火）

安佐南区内の25学区社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」に取り組みながら、住民同士の”ふれあい・ささえあい・たすけあい”の実践として、近隣による見守り、ふれあい生き生きサロン、ボランティア活動などの推進を行っています。令和4年度は長年社会福祉にご尽力いただいた方の中から梅林学区では5名の方が表彰されました。おめでとうございます。

表彰者	被表彰者		
広島県社会福祉協議会	作本 美恵子	玉田 久美子	平田 美也子
	梶川 政明	新宮 勝哉	

年越しそば配食サービス 令和4年12月29日（木）



梅林集会所において、社協の役員のみなさんで年越しそばを一つずつ袋詰めし、そして、配食は担当民生委員がお一人暮らしのご家庭を一軒一軒訪問して手渡します。

訪問先の一人暮らし高齢者の玄関先では、笑顔でお受け取りいただき感謝の言葉を頂戴しました。ほぼ毎月の一人暮らしふれあいサロンで対象者のお顔を拝見しますが、新しい年を迎えるにあたって今一度戸別訪問しての確認は必要なことと実感しました。

この「年越しそば配食サービス」は、お一人暮らし高齢者の健康状況、生活状況把握を含め、地域で支える高齢者見守り活動の一つとして、今後も引き続き継続すべきと考えます。

とんど祭り 宇那木神社 令和5年1月14日（土）

門松・しめ飾り・神矢・お札などを浄火して天に戻す正月明けの町内の一大祭事です。

今年もコロナ禍で、時折小雨がぱらつくあいにくの天気の中でしたが、町内会長、5年生男子（年男）による点火式に始まり、とんどを行いました。

祭事には町内外の150人以上の地域の方が三々五々訪れ、一年間の禍を払い、家内安全、コロナの終息と無病息災を願ってお祈りをされていました。



令和4年度の広報は私たちが担当しました。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1ブロック 有間 忠義 | 2ブロック 山田 稔 | 3ブロック 松井 憲 |
| 4ブロック 岩本 啓 | 5ブロック 下野 輝美 | 6ブロック 松布 恵三 |